

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位 (時間)	科目責任者
解剖生理学Ⅱ	1年次	必修	講義	1単位 (15時間)	竹内 法子
授 業 概 要					
臨床工学への応用と関連させて、各器官の解剖学的特徴をその機能を学習する。					
到 達 目 標					
1) 循環器系の構造と機能を説明できる。 2) 呼吸器系の構造と機能を説明できる。 3) 泌尿器系の構造と機能を説明できる。 4) 内分泌系の機能を説明できる。 5) 神経系の機能を説明できる。					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	循環器系(1)	心臓の構造と機能			竹内 法子
2	循環器系(2)	脈管系の構造と機能			〃
3	呼吸器系(1)	肺の構造と機能			〃
4	呼吸器系(2)	呼吸の調節機能			〃
5	泌尿器系(1)	腎臓の構造と機能			〃
6	泌尿器系(2)	排泄の調節機能			〃
7	内分泌系	ホルモンの調節機能			〃
8	神経系	中枢神経・末梢神経の機能			〃
学 習 方 法					
臨床工学に必要な人体の構造と機能のまとめの講義である。解剖生理学だけでなく、生体機能代行技術学の科目を含めて、予習、復習を行い、しっかりと理解する。					
評 価 方 法					
学科試験により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 臨床工学技士標準テキスト 第3版増補 小野哲章 他 金原出版 配布資料					